



## たった0.5℃の違いで

校長 能登 正明

新年あけましておめでとうございます。今年のお正月はいかがお過ごしになりましたでしょうか。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

天気予報や気象解説などの番組を見ていると、よく「エルニーニョ現象」や「ラニーニャ現象」といった言葉を耳にします。調べてみると、「エルニーニョ現象」とは太平洋の赤道近くから南アメリカ大陸沿岸にかけての海面水温が平年より高くなる現象だそうで、逆に、同じ海域で海面水温が平年より低い状態が続く現象を「ラニーニャ現象」と呼ぶそうです。そして、それらはそれぞれ数年おきに発生するそうです。

私は、この海面水温が高くなったり低くなったりするという話を聞いて、海水も温泉のように温かくなるものだとずっと思いこんでいました。しかし、実際の「ラニーニャ現象」では、海水の温度変化は平均から約0.5℃低くなるだけだそうです。「たったの0.5℃?!」と私は思いました。体温でしたらこのくらいの変動はしょっちゅうありますし、その違いに気がつかないこともあります(0.5℃違う水温の違いを判断するのも難しそうです…)

しかし、このたった0.5℃の違いが、南アメリカ大陸から遠く離れた日本の冬の寒さを厳しいものにしたり、大雪を降らせたりする原因となっているのです。先月の大門フェスティバルでも、環境問題についての発表がありましたが、たった0.5℃の変化で地球の反対側の日本の気候にまで影響を与える「ラニーニャ現象」を考えてみても、地球環境や気候変動の繊細さが分かるような気がしました。

新しい年を迎えました。6年生はいよいよ卒業に向かってのカウントダウンが始まります。他の学年も、春には一つ学年が進みます。この時期は今までのまとめであると同時に、新しいスタートに向かっての準備をする時期でもあります。これまでを振り返り、これからを見通す中で、この今という時にどんなことに取り組みばいいかをよく考えながら、毎日を大切に過ごして欲しいと思います。

今年も、新型コロナウイルスへの対応を考えながらの学校運営となりますが、保護者や地域の皆さまには、昨年引き続き、本年もあたたかいご支援とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

# 最近の教育活動の様子



## 大門フェスティバル ～人とつながる 未来へつなげる 大門小～ 12月4日(土)

各学年・学級が生活科・総合的な学習の時間に取り組んできたことを、感染症対策を講じながら工夫して発表しました。今年度もESD(持続可能な社会の担い手を育てる教育)の概念を取り入れ、SDGs(持続可能な開発目標【17】)の視点を各学級の取組に照らしながら活動を進めてきました。



**1年生** 各クラスがそれぞれ「秋のものを使って遊んだこと」を発表しました。落ち葉やどんぐり、まつぼっくりなどを使い、楽しく遊んだことを伝えました。身近な自然との遊びを通して、もっと自然が好きになり、これからも大切にしようと思う気持ちが芽生え、「陸の豊かさを守ろう」の視点につなげることができました。



**2年生** 「あそんでためしてくふうして」をテーマに発表しました。日常生活では捨ててしまうことの多い、身近なものを使って、おもちゃ作りをしました。どんなおもちゃが作れるかを考えたり、みんながもっと楽しむことができるように遊び方を工夫したりしました。それぞれのおもちゃの作り方や遊び方を分かりやすく伝えることができました。

**3年生** 各クラス「3の1ダンボールクリエイター」「キアゲハの里プロジェクト」「草木染めマスターになろう」をテーマに発表しました。クラスの課題を解決するために調べたことや、自分たちができることを考え発表しました。自分たちが課題解決のために行ってきた活動を、更にいろいろな人に伝えていけるようにしていきたいと思います。



**4年生** 「目指せ！クリーンマスター」「みんなが過ごしやすい生活をつくろう」「4年3組大門3R夢」をテーマに、各クラスのこれまでの取組や自分たちにできることなどを発表しました。伝えたいことが聞いている人に分かりやすく伝えられるように、発表内容や表現の仕方を工夫しました。今後は更に学びを深めながら、問題解決に向けて考えていきます。

**5年生** 各クラス「地球温暖化を防ぐための取組」「食品ロスを減らすために自分たちにできること」「難民のために靴を集めよう」をテーマに発表しました。一人ひとりが課題をもち、これまでの活動や考えたこと、自分たちにできることなどを紹介しました。これからは、地域や未来とつながりながら様々な問題を自分たちの力で解決できるよう考えていきたいと思います。



**6年生** 各クラス「eco&cut 6-1プロジェクト」「プログラミングで大門の地域の魅力をつたえよう」「CO2削減プロジェクト」のテーマで発表しました。クラスのテーマに沿って活動してきたことを、工夫を凝らして発表できました。未来の社会につなげていくために、自分たちにできることを考え、実践していくことの大切さを学びました。

**個別支援学級** 子どもたちが主体的に続けてきた6組プロジェクトの学習を生かし、発表しました。1年生に6組を知ってもらい、仲良くなりたいという思いから、「1年生と6組なかよしプロジェクト2021」を計画し、チームで協力して準備を進めました。1年生と一緒に楽しみながら発表したり、感想を聞いたりして交流を深めました。当日は2、3組と、後日、1組とも交流しました。

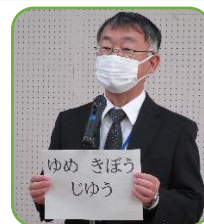




# 人権週間 11月29日(月)～12月10日(金)



「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校の実現を目指して、人権についての意識を高める週間です。人権朝会をはじめとして、ペア学年交流、外部から講師の先生を招いて人権学習を行いました。なお、人権学習は年間を通して、各学年実施する予定です。



## 人権朝会 11月30日(火) ペア学年交流

誰もが偏見・差別をされず、夢・希望・自由をもって生活できることの大切さについて校長先生から話がありました。その後、運営委員の児童が考えた取組が紹介されました。今年是人との仲を広げるために、他学年と交流します。また、感謝の気持ちを伝えることも行います。早速、各学年で楽しく交流する姿が見られました。様々な取組を通して、誰にとっても居心地の良い学校を目指していきます。



## 3年生 瀬谷養護学校人権教室 12月8日(水)

瀬谷養護学校の市川先生から「十人十色のかえるの子」のお話を聞きました。「困り感を感じたピョンきち」と「気持ちよくピョンきちに話をするウシガエルくん」の互いの気持ちについて考え、「みんな違ってみんないい」ということを学びました。これからの生活に活かしていくことを考える大切な時間となりました。

## 5年生 認知症サポーターキャラバン 12月17日(金)

地域のキャラバンメイトの皆さんに、認知症とはどのような病気なのか、認知症の方にどのように声をかけるとよいのかを話や劇を通して教わりました。子どもたちは、初めて知ったことを発表したり、自分たちにできることを話し合ったりして人権意識を高めていました。



## 1・2年生 手話を知ろう 12月

各クラスで映像や体験を通して学習しました。無音でテレビを見る体験をしたり、映像を見たりして、聴覚障害についての理解を深めました。子どもたちは、手話クイズや手話を使って挨拶したり歌ったりして、楽しみながら興味を高めました。また、聴覚障害があるとどんなことで困るのか、自分たちは聴覚障害のある人とどのように接したらよいか考えました。



## 1年生 子どもの国遠足 11月25日(木)

バスに乗って、子どもの国へ行ってきました。ゆうぐ広場や長いローラーすべり台で歓声を上げながら思い切り遊び、芝生の上でグループごとにお弁当を食べました。後半は牧場へ移動して動物を見たり、こども動物園でうさぎやモルモットにふれあったりして、楽しい時間を共に過ごしました。イチョウ舞う晩秋の一日を、元気いっぱいに楽しみました。



大門小学校のESD

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

大門フェスティバルを通して、SDGsの意識がまた一つ高まりました。子どもたちの振り返りや感想カードから、「日頃の生活でSDGsの視点をもっと意識していきたい」といったような思いもうかがえました。また、「活動の成果をしっかりと伝えられた」などの声も聞こえ、コロナ禍のため、参観者の制限ある中の開催でしたが、充実した発表ができました。



## 児童支援専任から



例年、この時期に友達にお菓子等をおごったり、おごられたりということがあります。学校ではそのようなことをしないように話をしています。お年玉が手元にあるこの時期、お金の使い方について、改めてご家庭でもよく話し合ってください。

また、登下校中の歩き方や登校時間について、学校では「安全強化WEEK」を通して声かけをしています。広がって歩かない、通学路を守って歩く等、改めてご家庭でも話題にさせていただき、子どもたちの安全を一緒に見守っていただければと思います。